



①＝まずは先生が見本を描いてみせる。

皆さん真剣な表情

②＝取材日に先生が用意していた
手本画の一部。

水墨の古典絵画を展開したもの

生徒さんには毎回、山水画二点、花鳥画二点の計四点の作品見本が配られる。三時間の授業の中で、この手本画の描き方を席画、そのあと前回配られた手本画をもとに自宅であつたにもかかわらず、多く描いてきた作品の添削を行うというのが授業の基本内容。実際の描法指導では、にじむ紙、にじまない加工紙を

使って具体的にどんな技法を使って描いたらよいかを見せながら古典絵画やほかの現代水墨作家の作品を見せ、使われている技法や関連する描法を解説する。「私の描き方だけを教えることは、生徒には決してプラスにはならない。多くの作家の描法や作品を紹介して生徒の選択肢を広げてあげたい」という。その考えの源には、「精神性や技法など水墨画には水墨画としての最低限のルールがあり、単なる白黒の西洋画であつてはならない」との自身の作家としての思いがあるからだ。限られた時間内での取材であることを学ぶことができた。このような機会に常に接している教室の生徒さんたちをう

この教室の特長は、単に技量の向上だけではなく、絵を通して教養を高めることに重点を置いているところだ。画集の古典絵画を前にどのような技法、紙、墨が使われているのか、さらにその絵が生まれた時代背景は…など。こうした幅広い知識の習得を積み重ねることにより、「展覧会の見方、古典絵画の解釈の仕方など『絵を読む力』を備えることができ、技量向上につながる」と王俊先生は話す。

技量を高めるだけではなく
楽しみながら教養を

王俊宇瀟
わんじゅん・ゆうしやう

俊恵書画研究会
水墨画柏支部教室

掲示板

JR本八幡駅から徒歩5分に位置する葛飾八幡宮。

王俊先生の多くの教室がある下総の国(千葉県)を鎮

守する寺として9世紀末の建立といわれる。境内に樹齢1200年以上といわれる国の特別天然記念物「千本イチョウ」がある。四季折々の行事とともに市民の憩いの場となっている。梵鐘は時を告げる音として市内に響き渡り愛着を得ている。

教室データ

開催日時◎第2火曜(午前の部9:30～12:30、午後の部13:30～16:30)

会場◎千葉県柏市柏1-1-7池松ビル8階

そのほかの教室◎千葉県の船橋、行徳、浦安、東京の日本橋、八王子などでも開催

問合せ・申込み◎俊恵書画研究会本部
☎047-371-3200 ◆10月20日から22日

まで千葉県・市川市文化会館にて「俊恵書画展」を開催



王俊宇瀟《華囀》



生徒作品
小松けい
《春鳴》